



# ぷらラボ ニュース 第5号

## 短期目標

~2025年度  
実現

### 民間代替性の高い施設を中心に 維持管理・更新コストを6億円縮減

災害などの「もしも」に備えるためには、「財政調整基金」(家計でいう「貯金」に相当)を毎年度末時点で**45億円を維持することが必要**です。2025年度末の必要残高を維持するため、**残高不足が見込まれる**うち公共施設等に係る分=6億円について、民間代替性の高い施設を中心に、その維持管理・更新コストの縮減を目指します。

## 中期目標

~2030年度  
実現

### 方向性を「あり方見直し」とした 施設を縮減

市の公共施設等のうち、**約半数が旧耐震基準の建物**(※)です。これらは、**築40年以上が経過し、老朽化が進んでいます**。こうした旧耐震基準の施設を中心に、公民連携の視点や先進技術の活用を念頭にしながら、そのあり方を抜本的に見直します。

※旧耐震基準の建物は、1981年5月31日までに建築確認されたものをいいます。

## 長期目標

~2030年度  
整理

### 統一的なルールを踏まえた公共施設等 全体の質・量のさらなる最適化

短期目標・中期目標に関係するもの以外の施設についても、本年度(2022年度)設置した「**構造改革推進本部**」の枠組みの中で、**あり方を見直します**。見直しに際しては、次号で紹介する、統一的なルールを踏まえ、時代に合ったよりよいサービス・機能の提供と、持続可能で健全な財政運営に向けた、施設の質・量のさらなる最適化を目指します。

# いわき市公共施設等総合管理計画の目標

以前の目標

建築物の延床面積  
10%縮減  
(人口推計の減少率から)

- むしろ延床面積は増加
- 「これまでどおり」や「現状維持ありき」で見直しが進んでいない
- 老朽化した施設の維持管理に膨大なコストがかかり続ける

このままでは 近い将来  
施設の維持がままならないばかりか  
本当に必要なサービスすら  
提供できなくなってしまう



目指すのは  
時代に合った  
よりよい  
サービス・機能を  
提供すること



そのための  
持続可能で  
健全な  
財政運営を  
行えるようにする

着実に見直しを前へ進めるために…  
**段階的な目標を設定!**